

謹賀新年

新年のご挨拶



三重県中小企業家同友会
代表理事 服部 一彌

あけましておめでとうございます。本年もよろしく
お願い申し上げます。

昨年1年会員の皆さまには同友会活動ならびに
様々な事業にご参加ご協力を賜り、厚く御礼申し上げ
ます。またこの間私たちの呼びかけに応え、同友会
にご入会頂きました皆様にも心より厚く御礼を申
し上げると共に、ご入会を勧めて頂きました会員の
皆さまにも心より御礼申し上げます。そして私ども
三重同友会に様々な形でご支援ご協力を賜りました
会外の皆様にも、紙面をお借りして心より厚く御礼
を申し上げます。

さて昨年は世界同時不況の煽りからあらゆる業種
において企業存続が命題となり、各企業でコストや
体制の見直しが図られました。輸出産業を主体とし
た日本経済の仕組みが、世界的な不況の中で大きな
ダメージを受け、従来どおりの産業構造ではもはや
以前のような景気回復は図れることができず、新た
な枠組みを構築するための動きが様々な業界で見ら
れるようになったことも大きな特徴と云えます。

また流行語大賞にもなった「政権交代」によって
新たな民主政権が発足し、官僚政治から国民目線
での政治にシフトしました。奇しくもアメリカで「C
h a n g e」を掲げたオバマ氏が大衆からの支持を

受け大統領に就任し、単独覇権戦略から世界協調戦
略へと切り替えられました。こうした変化が時を同
じくして起こることはすなわち時代が変化してい
ることを示しており、政治・経済・社会をはじめあ
らゆる面で大きな変革期にあります。

ダーウィンの進化論では、「強いものが生き残るの
ではなく、変化に適応したものが生き残る」と云わ
れています。パラダイムシフトとも云われる時代の
転換期にあって、いかに変化する環境に合わせて企
業の体質や事業を変革し、生き残っていくかが大き
く問われた1年だったのではないのでしょうか。

さて2010年は、どのような1年になるので
しょうか。発表される景気指標では回復の兆しが見
えるといわれているものの、我々中小企業において
はその実感は薄く、経済構造の変化からは先行き
においても不透明感が拭えない状況が続いており、今
後益々経営者にとって気の抜くことのできない厳し
い1年になることが予想されます。しかし私たちは
どのような経営環境になろうとも自社の経営を守り、
発展させていく役割と責任があります。時代の大き
な転換期にある今の状況にも真正面から受けて立つ
姿勢で臨み、自社の分析をしっかりと行ない、経営
指針のもとに、どんなに苦しくとも同友会が提唱す
る「社員と共に」を合言葉に、全社一丸体制で立ち
向かって参りたいと思います。

最後に組織改革と求められる課題に対応できる同
友会と企業を作るために、本年も会員の皆さんが同
友会の仲間と共に学び、援けあい、励ましあいなが
ら課題解決に向けて同友会と一緒に歩まれること、
そして自社の企業活動が新たな境地を切り開いた年
だったと言えるよう共に頑張ることを呼びかけて、
新年のご挨拶とさせていただきます。

平成22年 元旦

三重県中小企業家同友会 理事・事務局一同

支部例会だより

南勢支部 1 2 月例会報告

テーマ『不況時代だからこそ、
求められる業容の拡大を図る』

報告者 西尾 新氏
丸文ビル管理 (株) 代表取締役



(西尾氏)

1 2 月例会では、同じ南勢支部の丸文ビル管理(株)の西尾新社長に「不況時代だからこそ、求められる業容の拡大を図る」というテーマで講演をしていただきました。2009年の漢字も「新」という事で、今年の最後を飾るのにふさわしい講演でした。

西尾社長は家業を継ぐつもりで大学進学し、当時から[目的の達成][満足の度合い]ということを考え、生きがいを見つける為にどうしたらいいのかというテーマを持っていました。人との出会いは日ごろから大切だと考えていますが、西尾社長もいい友達との出会いがあり、物事を表面ではなく本質的にとらえるようになったそうです。

結局家業は継がずに、関連会社の今の仕事に生きがいを見つけて現在にいらっています。現在はスタッフ300名を抱え、ホテル等の清掃業を中心に業務をおこなっていますが、特別な社員教育は行わず、すべてのシフトを自分で組み、なおかつ管理しているところに西尾社長のすごさを感じました。

経営戦略は営業をしない事！信頼される仕事をやっていけば仕事は入ってくると考え、特別な営業は行ってないそうです。またこの不況の時代に依頼された仕事でも、条件が合わなかったり、お客さんを満足させられないと思ったりすると仕事を断っているそうです。そういうところにお客様との信頼関係が出来てくるのだと思いました。

来年は厳しいとおっしゃっていましたが、それも見直しのチャンスだととらえ県外にも目を向けて業容の拡大を図っていくそうです。

今回は話の節々に社員やお客さんを大事に考えているということが伝わってきました。西尾社長のように、ピンチをチャンスと捉える考え方こそ今の経営者に必要な事ではないのかと思いました。

(株)浜与 浜崎幸弘

北勢支部 1 2 月例会報告

テーマ
『社長の仕事は打ち上げ花火と仕組み創り』

報告者：市田 淳一氏

(株)東海テクノ 代表取締役



(市田氏)

(株)東海テクノ市田社長から「社長の仕事は打ち上げ花火と仕組み創り」と、かなりインパクトのあるテーマで報告いただきました。

話の切り出しからあった、社長が長期不在でも仕事が入ってくる仕組みは、私の理想の会社であり、どのようにその仕組みを創り上げ

てきたのかは実に興味深いものでした。また、市田氏の経験の中から同友会の例会のあり方など、同友会をどのように活用してきたかの話もあり、「なるほど確かに」と目からウロコでした。

スライドでは、業界の概要や、経営者として社内でも取り組んで来た事、経営理念、キャッチコピー等々の話を聞き、環境保全や国際貢献、特に外国人に対する『ジャパニーズ接待』は、アフターまで徹底的に行なう社内での取り組みの深さを強く感じました。

その他にも、「日本にどこにもない環境サービス企業になろう」というこの理念にも、市田社長の考えや会社への思いが強く感じられ、独自に作った基準「東海テクノレベル」でニュースレターや年賀状まで他社と差別化していく企業風土や、「もし業だったら」という異業種のビジネスモデルを素人の視点から立てて、自社の業界の新たなモデルを考える取り組み、「青い鳥症候群」のように起こりもしない希望的観測に期待はせず、「狼少年を恐れず」起こると仮定して常に最大のリスク管理を行なっていく仕組みは、商品で他社と差別化出来ない業界の中で、何を自社の強みにするのが明確にされていて、ここまで明確なら社員も理解しやすいと感じました。

その他書き出したら、キリが無いほど千差万別の話の聞き、あっという間のとても有意義な時間でした。報告を聞いて、会社の仕組み創りより自分自身の切り替えからと感じました。まずは肯定的な自分作りから始めていきたいと思います。

また、機会があれば今回時間の都合で詳しく話して貰えなかった部分も是非聞きたいと思いました。

(株)現代プラントサービス 田中裕命

委員会だより

社員教育委員会

第24回社員教育活動全国研修交流会

11月19日(木)と20日(金)一泊二日にて岐阜都ホテルでの、第24回社員教育活動全国研修交流会に参加してまいりました。同友会の三大会の全国大会には参加経験があるのですが、委員会活動での全国研修には今回が初参加でした。

メインテーマに「経営者と社員の信頼が厚い会社を作ろう。～自分の言葉で「人育て」を語ろう～」を掲げ、開催意義として「人育てこそ、厳しい環境を開く道筋となり得るか検討する。そのための経営者の在り方 特に幹部社員との信頼関係はできているか! ビジョンを示す能力を磨き、価値観を共有させていく努力を重ねているかなどを振り返る。これからの時代に求められる「人財」観を、地域と人育てをつなげた実践から学び、人育ての面から中小企業憲章を深める。を中心に学びあいました。

内容と感想の報告ですが、初日の基調講演では「教育CSR～企業の教育参加で人材育成・地域と教育の再生へ～」と題して講師にNPO法人アスクネット理事 教育コーディネーター 毛受芳高氏(メンジョウヨシタカ)の講演でした。そのあとはもちろん90分間のバズセッションです。討論テーマ「報告を聞いて感じたこと、気付いたこと」「若い社員や若い世代の教育についての悩みや問題は何か?」「その悩みや問題について自社でどんな取り組みをしているのか?」の3つで、私の電子手帳のメモより、今の若者はコミュニケーションしない環境で育ってきていて、団体での活動が少なく、就職しても現在の企業にうまくとけこめず、働くことによるやりがい生きがいを見つけにくい人材が多いので、現在の教育環境にプラスして職場見学や職場体験

(いきいきと働いている姿を若者に見せる)ができる環境を増やして、「何のために働くのか・やりがい生きがい・自分の夢や目標」を見つける手助けを、学校教育とともに地域の企業が率先して行っていくと良い経営環境を作れると確信いたしました。(元気な地域・元気な人々・元気な企業)



2日目は事例報告として、「社員一丸となって危機回避～社員の自主性を営む社員教育～」をテーマに、愛媛同友会代表理事の服部製紙(株)服部会長より報告がありました。そのあとはもちろん「社員の自主性を育む経営者の姿勢とは?」を討論テーマに60分間のバズセッションです。

討論を通じて、いきいきと働ける職場作り、会社は組織であり経営者は会社の方向性・目標をはっきり示し任せること、MVP制度の導入(社員を褒める・認める)委員会制度で委員会に任せる(自主的な動き)理念は社長・方針計画は社員さん(社員の自主性を育む社員教育 少しずつやらしてみる)後輩指導の実践(後輩に教えることにより教える人が学ぶ)などたくさんの気づきがありました。

参加してみて、非常に「パワーアップ」できて、また一步「ええ会社」に近づきました。さっそく自社におきかえて「実践を楽しもう」でいきます。

会場からの岐阜城・金華山を眺める気分は、斎藤道三 or 織田信長 いやいや秀吉 or 家康。さてあなたは誰流? 失礼しました。

クラタヤ商工(株) 川嶋敏文

新会員のご紹介(敬称略)

(21.11.20~21.12.16)

ひらまつ
平松

よしいちろう
洋一郎

(株)ヒラマツ
津市観音寺町116
取締役専務
059(225)5001
業種 重量鋼構造物・大型車輛
用洗車機・他車輛洗淨機
製造販売
中勢支部 紹介者:伊藤朗

すずき
鈴木

なおや
直哉



(有)三栄食品販売
津市安濃町戸島1060
代表取締役
059(268)1121
業種 調理冷凍食品の製造・販
売、総合食品の卸販売
中勢支部 紹介者:太田振一郎

かどの
門野

こういちろう
広一郎



(有)庄助
桑名郡木曾岬町源緑輪中794
専務
0567(68)1801
業種 旅館
桑名支部 紹介者:三重同友会

おかもと
岡本

ひろのぶ
浩延

(株)岡本總本店
四日市市鶉の森1丁目4-28
代表取締役社長
059(351)6611
業種 家具販売
北勢支部 紹介者:佐野貴信

「気づきは【バランス】」

諸戸アイサン建設(株) 杉本裕司



(杉本氏)

駆け足で紹介させていただきます。1990年までは仕事に遊びにと追われていた楽しい時期。1990年春～夏、佐藤辰雄氏の誘いでオブザーバーとして例会見学。楽しいだけではだめなのかなあと頭の中をかすめる。一度立ち止まって会社の、自分の現在・過去・未来を考えなあかんかなあ?と思い入会。早速、支部幹事、その後第4回経営研究集会報告者を経験。

よい経営者の責任の第一歩として労使関係の問題、そして経営指針作成、就業規則作成等のセミナーに参加し作成完了。作成したものの会社全体を巻き込むまでに至らず、自己満足の世界に浸っていた様で

す。何か問題が生じた時にそれを盾にとり、苦情を言っていたように思います。

だんだん同友会経験が長くなるにつれて知識だけは豊富になっていきました。すると異業種の会員さんの話を聞く機会も増え、割と的確な回答が出るんですね。相手も納得の様子で感謝されてみたり!!(自分自身実戦経験もないくせに・・・)これが『頭でっかち 尻すぼみ』と申しましょう。バランスの悪～い経営者!!すわなわち小生のことであります。しかし、小生も馬鹿ではなかった様です。バランスの取れた経営者にならんと笑われるなあと思うようになってきたんですね。するとどうでしょう?自然体で社員さん達に向き合い、話し合える様になりましてねえ。ここ近年、頭と尻のバランスが一寸良くなってきた様に感じています。(また自己満足か?違うと思います)

経営者として同友会の三つの目的は永遠のテーマであり、避けて通れない宿命ではないでしょうか?時間がいりますが、後継者に引き継いでいきたいと思っています。遅ればせながら(遅いわ)成長させていただいた同友会よ!!ありがとうございます。皆様には何か感じていただけたら幸いです。

〈ゆく年、くる年〉

平松産業(株) 平松俊範

激動の二〇〇九年が終わった。この二〇〇九年は私が知る限りの歴史の知識から、織田信長が本能寺で暗殺された年、ペリーの黒船が襲来した年、日本が国際連盟を脱退した年、そんな歴史が動いた年に匹敵するくらいの激動の二〇〇九年ではなかっただろうか。しかも地球規模の激動ではなかっただろうか。

この激動時代の平松産業は九月決算だから、第四九期はまるっと激動の十二ヶ月だった。その激動対策は売上に合わせた支出の縮小、売上に合わせた社員数の縮小、売上に合わせた在庫の縮小、売上に合わせた残業の縮小、売上に合わせた平松俊範の体重の縮小(これはハーフマラソンに向けた前向きな縮小)、振返れば「縮小二〇〇九年」と言える。

この激動から将来への夢希望をどうやって描こうか。平松個人の夢希望、平松産業の夢希望、日本国の夢希望、地球全体の夢希望をどうやって描こうか。

「人は、思い描いた夢希望が実現できる想像力と実行力を持っている」と言う。思いは実現する」と言う。その言葉を信じてワクワク二〇一〇年

の夢希望を描こう。

二〇一〇第五〇期は、縦の部署別組織(経営部、営業部、製造部、配送部、業務部、総務経理部)に加えて、横のチーム制(改善チーム、品質チーム、環境チーム、開発チーム、人財チーム)を新たに創り直し、チームキャプテンも三〇才前後の若手社員に入れ替え、若手社員の出番と創り直した。創り直して三ヶ月、まずまずの動きだ。

最も重要なのは、平松俊範個人の経営者の創り直しだ。まずはスロージョギングのお陰で減量に成功し、二〇一〇年のハーフマラソン完走の目処ができた。自分にとっては思い切ったワクワク行動への変化だ。この自己変化に自信を得て、毎日の習慣の創り直し、特に「明日を見つめる時間」、「明日への実行」の創り直しだ。「社長が変われば会社は変わる」と言う。まだ後継者がいないから、自己変身、自己改革、自己成長しかない。行動を変える。習慣を変える。皆様、明日への夢希望に向かって、ええ会社に向かって、共に前進しましょう。

各支部例会案内

桑名支部 2月例会・臨時支部総会

テーマ『仮)あなたは2番手の存在を
どのように理解していますか?』

日時 平成22年2月2日(火)
18:30~21:00
(臨時総会 18:30~ 予定)

会場 桑名中央公民館
報告者 伊藤 純子氏
すし道場(有) 専務取締役
司会運営 佐藤 博之氏

会社内において社長と2番手との係りは経営において大きな要素となります。報告・バズセッションからこれからの自社における社長と2番手との係わり合いの方向性を見出します。

中勢支部 1月例会

テーマ『パラダイムシフトの中で
生き残る企業戦略と事業継承』

日時 平成22年1月27日(水)
18:45~

会場 松阪フレックスホテル
報告者 藤川 勝彦氏
旭鍍金(株) 代表取締役社長

自社の関わる業界(自動車・電子デバイス)の動きや展望をどのように捉え、どのような戦略を立てられているか、また、オーナー家系ではない藤川氏が引き継いだ経緯や思いをお話し頂き、企業戦略を事業継承を考えたいと思います。

南勢支部 1月例会

テーマ『2010年経済の展望と経営課題』
~新年例会~

日時 平成22年1月19日(火)
17:30~20:50

会場 大石屋
講師 石川 裕史氏
(有)IMC経営センター 代表取締役
参加費 10,000円

毎年恒例となりました新春例会は、石川裕史先生をお招きして、新年の幕開けにあたって2010年の経済・景気動向についてお話をいただき、一年の計画と経営課題について考えます。

北勢支部 1月例会

テーマ『どうすれば人が輝くのか』
~人が輝けば、会社が輝く

輝いている会社には人が集まる~
日時 平成22年1月20日(水)
19:00~21:10

会場 四日市農協会館 JA第一ホール
報告者 大嶋 啓介氏
(有)てっぺん 代表取締役

NPO法人居酒屋甲子園 初代理事長
「夢を与える男日本一」を目指している大嶋啓介氏から「高い志と夢」を持つ意義と、「人を輝かせる」極意を報告いただき、実践していきたいと思います。

伊賀支部 1月新年会

日時・会場 未定

詳細が決まり次第ご案内させていただきます。

尾鷲・熊野グループ 1月例会

テーマ『全国の物産展から見る
地域色と消費者の傾向』

~地域おこしのヒントはスイーツにあり!??~

日時 平成22年1月20日(水)
19:00~21:00

会場 サンプラザ
報告者 高濱 敏泰氏
(有)丸高 代表取締役

県外の物産展に積極的に出展され、行く先々での物産展を通じて感じられた地域色やお客様の消費傾向などを外から見て感じた尾鷲の課題や解決の糸口についてお話しいただきます。

第9回理事会まとめ

1、各種報告事項

中同協全国事務局長会議の報告について

- ・情勢分析と認識の共有化を事務局内及び役員・会員の方々と図っていく。
- ・事務局においても経営が求められており、経営の共通点や苦しい時の心境を事務局長と役員(会員)は互いに理解し合い、信頼関係を築いていくことが必要である。
- ・中小企業地域振興条例の制定に向けた取り組みは、組織率の高い地域で制定が進んでいる。会員増強と合わせて振興条例制定に向けた取り組みが求められている。

第17回経営研究集会の報告について

今回の反省点として、ある分科会の中で前日に同業者の方の参加制限をしたことで、欠席者が多かったことから、事前の打合せの徹底を図ることと、基本的には全ての参加者が等しく学ぶことができるのが同友会のスタンスであり、講師・報告者にもその主旨を理解いただくよう確認することを次回以降への申し送り事項とすることを申し合わせました。

上記の件については、これまでに前例もなく例会やグループ会などの活動にも関わる内容であることから参加者それぞれの意見交換を行ない、賛否両論が出されましたが、今回のケースを例として例会のあり方を見直していくよう喚起していくことを申し合わせました。

経営者セミナーの報告について

銀行本体との共催ができ、地域の経営者を掘り起こす機会となりました。入会・オブザーバー参加の動きが出ています。

2、正副代表理事会の報告について

次年度の活動テーマ・方針を検討していくにあたり、改めて理事会と各支部幹事会との一体化を図るため、各支部幹事会でも活動課題を検討して頂き、1月の理事会で各支部からの意見を集約し、最終的な次年度の活動テーマと方針をまとめることとしました。

3、委員会の報告提案

総務委員会の報告について

- ・11月度月次決算について報告されました。

- ・第28回定時総会の開催日程について、4月23日(金)に鳥羽国際ホテルにて開催することとしました。
- ・同友会ホームページ及びメーリングリストについて、これまで(株)ピシーズの富山氏(北勢支部会員)のご好意によりサーバーを使用させて頂いてきましたが、諸般の事情によりサーバーを移行することとなりました。移行先については近日中に決定し、会員皆さまに告知します。
- ・中日本ブロック事務局研修が1月29日(金)11時~17時に岐阜県じゅうろくプラザで開催され、事務局全員が参加することが承認されました。

共同求人研究会の報告について

合同企業説明会へ100名を超える参加が続いている。しかし一方で企業側の採用意欲が減退しており、同友会外で求人活動されている企業への参加を呼びかけていきます。

大学訪問でも先生方の対応が変わってきており、どのような時期でも継続していくが大切であることを再確認しました。

費用効果の面から求人サイト「Jobway」の活用を停止し、新に(株)O-GOEが運営するサイトに移行します。

5、入会者の承認、前回理事会以降の活動報告(略)

新会員のご紹介は3面になります。

事務局だより

年未年始休暇のお知らせ

.....
: 12月29日(火) :
: ~ 1月4日(月) :
.....

1月5日(火)より業務を行っております。

本年中は何かとお世話になりました。

来年も皆さまにとって良き年となりますよう御祈り申し上げます!



